

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 特定非営利活動法人日本語教育ボランティア協会

1 事業の趣旨・目的

日本語学習支援が必要な外国人児童生徒には日本語がほとんど分からない子どもが多いのと同時に、子どもたちの母語が分からない支援者も多い。支援者が地域の教育現場での使用頻度の高い言葉をポルトガル語でも表せることで、日本語支援の中で子どもたちの更なる理解に寄与する。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
5月14日	浜松国際交流協会	澤田、松岡、石間、片岡、清水、河合、藤田、岩永	文化庁受託事業の概要説明。講座募集について。講師について。	講座内容と予算説明を行った。

3 養成講座の内容について

(1) 講座名 ジャボラ外国人児童・生徒のためのポルトガル語による日本語学習支援教室

(2) 目標 日本人支援者が基礎的なポルトガル語を覚え、現場で活かせるようにする。

(3) 受講者の総数 15 人

(出身・国籍別内訳 日本 15名)

開催時間数(回数)【初級Ⅰ】20時間 (20回)【初級Ⅱ】40時間 (20回)

(4) 参加対象者の要件 外国人支援を行っている者およびその希望がある者

(5) 受講者の募集方法 国際交流協会のレターニュースおよびホームページへの掲載

(7) 会場 クラッセ「ニジ」高丘教室

(8) 使用した教材・リソース 講師のオリジナルテキスト、絵カード、レアリア

(参考書籍)『ブラジル人による生きたブラジルポルトガル語初級』

『ゼロから話せるブラジル・ポルトガル語 会話中心』

(9) 講座内容

【初級 I】

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
5月7日 13:00～14:00	簡単なあいさつ 自己紹介	内山ワリソン	13名
5月21日 13:00～14:00	前回復習 授業で使うフレーズ	内山ワリソン	15名
5月28日 13:00～14:00	前回復習・ser 動詞 アルファベットの読み方	内山ワリソン	15名
6月4日 13:00～14:00	母音・アクセント 国籍、職業の言い方	内山ワリソン	14名
6月18日 13:00～16:00	食文化体験①～お菓子・ポルト ガル語で物の名前等を尋ねる～	内山ワリソン	15名
7月2日 13:00～14:00	B～Fの発音 復習(複数形を使って)	内山ワリソン	14名
7月16日 13:00～14:00	G～Lの発音 この・その・あの、名詞	内山ワリソン	12名
7月30日 13:00～14:00	M～Pの発音 これ・それ・あれ、名詞	内山ワリソン	13名
8月20日 13:00～14:00	食文化体験～パステウ作り～	内山ワリソン	10名
8月27日 13:00～14:00	数字1～10 所有の表現	内山ワリソン	11名
9月3日 13:00～14:00	T～Zの発音 家族紹介、数字、電話番号	内山ワリソン	9名
9月17日 13:00～14:00	数字～100、カレンダー、年齢、 誕生日の言い方	内山ワリソン	10名
10月1日 13:00～14:00	形容詞	内山ワリソン	10名
10月15日 13:00～14:00	形容詞②	内山ワリソン	11名
10月22日 13:00～14:00	嗜好を話す	内山ワリソン	10名
10月29日 13:00～14:00	住んでいる所、働いている所	内山ワリソン	11名

11月12日 13:00～14:00	時間表現	内山ワリソン	10名
11月19日 13:00～14:00	予定を話す(だれと、どこへ)	内山ワリソン	9名
12月17日 13:00～14:00	時間表現(何時から何時まで)	内山ワリソン	10名
12月24日 13:00～14:00	地域ブラジル人との交流、ピザの注文	内山ワリソン	10名

【初級Ⅱ】

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
4月23日 14:00～16:00	自己紹介	齊藤ナイル美 紀子	10名
5月21日 14:00～16:00	場所を尋ねる表現を学ぶ	齊藤ナイル美 紀子	12名
5月28日 14:00～16:00	アドバイスの仕方を覚える	齊藤ナイル美 紀子	12名
6月4日 14:00～16:00	趣味・嗜好を話す	齊藤ナイル美 紀子	9名
6月18日 13:00～16:00	食文化体験①～お菓子・ポルトガル語で物の名前等を尋ねる～	齊藤ナイル美 紀子	15名
7月2日 14:00～16:00	休日について話す	齊藤ナイル美 紀子	10名
7月16日 14:00～16:00	しなければならないことを伝える	齊藤ナイル美 紀子	9名
7月30日 14:00～16:00	理由を説明する	齊藤ナイル美 紀子	9名
8月20日 14:00～16:00	食文化体験②～パステウ作り～	齊藤ナイル美 紀子	10名
8月27日 14:00～16:00	時間表現	齊藤ナイル美 紀子	11名
9月3日 14:00～16:00	時間表現②	齊藤ナイル美 紀子	10名
9月17日 14:00～16:00	願望を伝える	齊藤ナイル美 紀子	9名
10月1日 14:00～16:00	能力について話す 許可を求める	齊藤ナイル美 紀子	10名
10月15日 14:00～16:00	Saberの使い方	齊藤ナイル美 紀子	9名

10月22日 14:00～16:00	必要な物事を伝える	齊藤ナイル美 紀子	10名
10月29日 14:00～16:00	様態を伝える	齊藤ナイル美 紀子	10名
11月12日 14:00～16:00	動詞の活用	齊藤ナイル美 紀子	9名
11月19日 14:00～16:00	動詞の復習 Conhecer の使い方	齊藤ナイル美 紀子	10名
12月17日 14:00～16:00	動詞の復習 ピザの注文の仕方	齊藤ナイル美 紀子	10名
12月24日 14:00～16:00	地域ブラジル人との交流、ピザ の注文	齊藤ナイル美 紀子	12名

(10) 講座の評価

①受講生に対するアンケート

- ・自学で疑問に思っていたことが解消できた。
- ・ブラジル人の子ども用のポルトガル語教材は興味を持って学習できた。また、外国語で教科学習をする子どもたちの大変さを感じることができた。
- ・学習したことを試す時間があるので、自分の理解度を知ることができた。
- ・外国人に日本語を教える時、自分も外国語学習経験があれば相手の気持ちが分かるので、それがとても有益に思った。
- ・言葉だけでなく、ブラジル文化についても体験できよかった。
- ・算数用語なども学べてよかった。
- ・講座を続けてほしい。

②実施主体からの研修内容結果評価

既に外国人児童生徒の支援を行っている受講生もいたので、授業内容は外国人児童生徒が必要な言葉や会話を想定して構成した。学習道具の名前や、学校内で起こり得る状況を設定しての会話練習をし、好評だった。受講生からは講座を続けてほしいという声が上がった。この講座を通して、当協会の外国人児童生徒の支援に関する講座に参加するようになった受講生もいて、受講生の関心をさらに高めることができたと感じる。

③実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

浜松市内中心地より離れていて外国人支援が少ない高丘地域において、日本人と外国人が共に能動的に活動していくための外国人支援グループ「パサリーニョ」を結成した。講師を招いての講座と、指導方法についての勉強会を開き、高丘地域に根付いた活動をする団体の構築を目指しての活動を始める。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

当事業の受講生には同じく文化庁から受託し行っているボランティア研修会を紹介し、参加を呼び掛けた。興味を持ち、参加してくれた受講生もいた。

② 研修後の人材活用

本事業受講後、すでに外国人支援にあたっている受講生もいるが、(10)③でも記したパサリーニョの活動への参加を啓蒙し、学んだポルトガル語を生かして活動に参加してもらえるよう呼び掛けていく。パサリーニョには外国人保護者も参加するので、外国人児童生徒に対する直接的な支援だけではなく、保護者との協働においてもポルトガル語を生かして機会を拡大していってくれることを期待している。

(12) 今後の課題

内容面での満足度は高かったものの、受講生数は徐々に減っていく傾向にあった。この点について、告知は国際交流協会のニュースレターやホームページ上で行ったが、それらを目にしない人も多くいると思うので、地域自治会での告知もお願いすれば、もう少し受講者数を確保できたと思う。次回機会があれば、告知方法の改善を検討したい。